

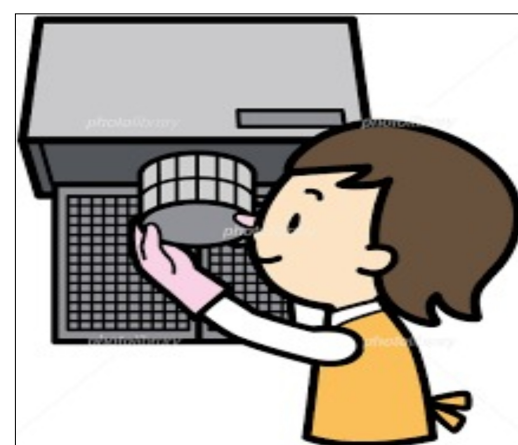
マイホームのお手入れ

キッチン②

●換気扇・レンジフード

換気扇の油污れは、こまめに掃除すれば、それほどひどくはありません。まず、カバーと羽根をはずし、ぬるま湯でうすめた洗剤で洗いましょう。プラスチック製品は、傷がつきやすいので、クレンザーやタワシは避けて、スポンジを使いましょう。こびりついた汚れは、洗剤の原液につけて数時間放置し、汚れをはぎ落とすようにします。溝や羽根の重なった部分は、歯ブラシに洗剤をつけて落とします。普段は、フィルターだけをはずしてこまめに掃除しましょう。※レンジフードは構造が複雑ですので、説明書をよく読んでから掃除して下さい。

◎最近は、「**自動洗浄付きレンジフード**」が発売されています。
取替をご希望の方は、お気軽にご相談下さい。



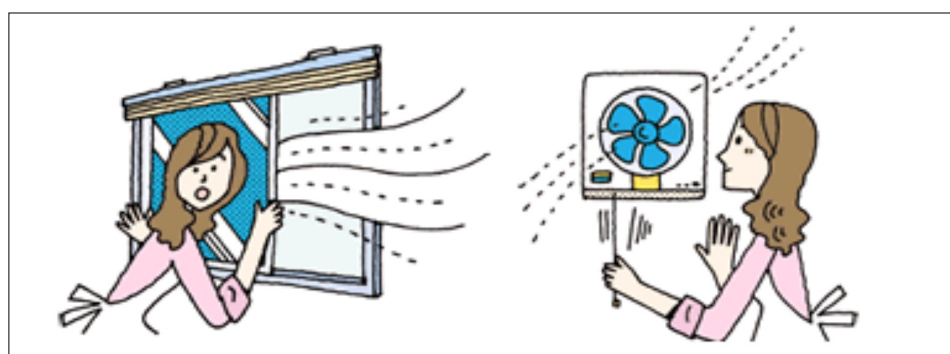
●ガスレンジまわり

ガスレンジまわりの壁、窓台、戸棚などは、油はねなどが付着しやすいところです。時間がたつにつれ、これらの汚れは落ちにくくなりますので、使用の都度お湯拭きするよう心掛けましょう。



●天井

炊事による水蒸気、油、煙などにより、最も汚れやすい部位です。炊事の際は、換気を良くし、水蒸気や煙を放出するよう心掛けましょう。



工事だより

T様邸新築工事 足場を外す前に外部の検査を行いました。



受動喫煙防止！

協会けんぽ香川支部メールマガジンVol. 80より

健康増進法の一部を改正する法律が2019年1月より一部施行されています。
改正の趣旨は、「望まない受動喫煙の防止を図るため、多数の者が利用する施設等の区分に応じ、当該施設等の一定の場所を除き喫煙を禁止するとともに、当該施設等の管理について権原を有する者が講ずべき措置等について定める。」です。
すでに施行されているものは下記の通りです。

2019年 1月24日 施行	○喫煙を行う場合は周囲の状況に配慮	屋外や家庭など (例) できるだけ周囲に人がいない場所で喫煙をするよう配慮。 子どもや患者等、特に配慮が必要な人が集まる場所や近くにいる場所等では喫煙をしないよう配慮。
2019年 7月1日 施行	○敷地内禁煙 (屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所を設置することができる。)	第一種施設 子どもや患者等に特に配慮 ・学校、児童福祉施設 ・病院、診療所 ・行政機関の庁舎 等

2020年4月1日施行は、「第二種施設：事務所、工場、ホテル、旅館、飲食店、旅客運送事業船舶、鉄道、国会、裁判所等」と「喫煙目的施設」が対象となり、細かい規定が定められています。
「改正後の健康増進法の規定に違反した者について、所要の罰則規定を設ける。」とありますので、喫煙者の皆様はお気を付け下さい。

”高松は大丈夫” は大きな間違い！ ～高松市作成資料より～

高松は、自然災害が少なく、穏やかな地域だと言われてきました。しかし、近年「南海トラフ地震」が起こる可能性が少しずつ高まり、近い将来必ず発生すると言われていています。そこで、まず私たちが**できることは、「南海トラフ地震」について正しく知って、正しく備えておくこと**です。地震に対する正しい知識があれば、不安や恐怖を軽減できるだけでなく、今、何をしておくべきか、そして、地震が来たときに何をすべきかがわかります。かつてない大地震に備え、今できることを一緒に考えていきましょう。

南海トラフは四国の南の太平洋の海底にある水深4,000mの深い溝（トラフ）のことです。
溝（トラフ）はユーラシアプレートの下にフィリピン海プレートが沈み込んでできた帯状のもので、北は静岡県の駿河湾、富士川河口付近から南は九州沖まで達しています。



▲最大クラスの南海トラフ地震により、高松で予想されることは？

揺れ	大きな揺れが発生します。市内の最大震度は6強、広い地域で6弱の揺れが想定されています。
ため池の決壊（陸の津波）	ため池の決壊で周辺の地域が浸水する恐れがあります。
液状化	埋立地や砂地などでは揺れによって液状化が起こり、建物が傾くなどの被害が予想されます。
津波	高松市内の最高津波水位は、志度湾に面した地域で海拔3.8mの予想です。
河川堤防の崩壊	大きな河川の周辺では、川の水で浸水する可能性があります。
急傾斜地崩壊・地すべり	地盤が軟らかくて急斜面のところでは、揺れによる山崩れや地すべりが起こりやすくなります。

▲地震発生後、ライフラインはどうなる？ ライフラインは、すぐには復旧しません。対策を考えよう。

上水道	発生直後には、約8割の世帯が断水となり、仮復旧に1ヶ月以上かかる区域約20%を除いて、1日後には41%、4日後には60%、1週間後には73%、1ヶ月後には97%が復旧する見込みです。
下水道	発生直後には、約2割の世帯で利用困難となり、仮復旧に1ヶ月以上かかる区域約7%を除いて、4日後には38%、1週間後には66%、1ヶ月後には、ほぼ全域で復旧する見込みです。
電気	発生直後に全域で停電となり、仮復旧に1ヶ月以上かかる区域約10%を除いて、1日後には64%、1週間後には、ほぼ全域で復旧する見込みです。
電話	発生直後に約8割の固定電話が通信不能となり、仮復旧に1ヶ月以上かかる区域約3%を除いて、1日後には64%、4日後には96%、1週間後には、ほぼ全域で復旧する見込みです。
都市ガス	発生直後に約7割の世帯で供給が停止します。仮復旧に1ヶ月以上かかる区域約2%を除いて、1日後には8%、4日後には9%、1週間後には11%、1ヶ月後には54%が復旧する見込みです。

▲あなたの家は安全ですか？

建物の耐震性を知り、対策を講じること、さらに家具の転倒防止対策を行うことは減災につながります。
耐震診断で住まいの強度チェックを！ ☒ 該当する項目が3つ以上ある場合は、早めに耐震診断を受けましょう。

1	昭和56年5月31日以前の建築である。	☐	6	1階の東西南北のうち、壁が全くない面がある。	☐
2	何度か増築している。壁や柱の一部を撤去している。	☐	7	床下・床上浸水や火災に遭ったことがある。	☐
3	建物がLの字やTの字など、複雑な形をしている。	☐	8	シロアリ被害が発生したことがある。	☐
4	一辺が4m以上の大きな吹き抜けがある。	☐	9	和瓦や洋瓦など重い瓦が使っており、1階に壁が少ない。	☐
5	2階の外壁の真下に1階の内壁または外壁がない。	☐	10	基礎工事が鉄筋コンクリートの布基礎、ベタ基礎、杭基礎になっていない。	☐